

～人権感覚を磨くということ～

私たちは普段、特に人権ということ意識することなく過ごしている人がほとんどではないだろうか？

私自身も毎日毎時間『人権』を頭いっぱいにして過ごすことは正直言ってない。

でも、人権に関わる仕事柄色々な研修を重ね学んでいくにつれ、これまで自覚できていなかった偏見や思い込みに気づかされるのが格段に増えた。

様々な人権課題がある今、人権感覚を高めることが大切だとよく耳にしたりするが、果たしてその人権感覚とはどういうことなのか……。そして自分自身の人権感覚はどうか？俯瞰的に検証してみた。

分かりやすく言うと人権感覚とは『自分の大切さとともに他の人の大切さを認めること』だと教わった記憶がある。言葉にすると簡単だが私自身それが実践できているのか？と問われると、良い返事ができないのが不甲斐ない。

私たちの周りには様々な情報が溢れている。一部の情報に影響されて根拠のない理由や固定観念で物事を判断したり、差別や偏見に繋がる行動やものの考え方をしていることはないだろうか？日々の生活の中で私たち一人一人がしっかり考え、情報を正しく判断する上でも人権感覚を研ぎ澄ませていくことが、相手を思いやる気持ちを自然に持てるようになって、偏見・差別を見極める大きな礎となるはずだと疑ってやまない。

静かによ〜く考えてみると、人権感覚を磨くというのはこういうことを考えるところからスタートしていいのかな？と自分に甘い私が思った結論だった。

ペンネーム：おばちゃんをつぶやま

